第２回琴浦町立ふなのえこども園あり方検討会について

子育て応援課

第２回琴浦町立ふなのえこども園あり方検討会を開催し、新園舎の建設地及び機能・設備について検討を行った。

１　開催日　令和２年 11 月 19 日(木)

２　委員

畑千鶴乃(鳥取大学准教授)、徳田憲生(赤碕こども園長)、高力和美(教育委員)
御﨑智徳(ふなのえこども園保護者)、石賀貴幸(こととうらこども園保護者)
倉長幸代、浪花恵子(主任児童委員)、田中清治(教育長)、山口秀樹(副町長)

３　内容

（１）　第１回検討会について(まとめ)

今後、赤碕中学校区の**就学前児童数が減少**していく。各園とも**保育士確保が困難**な状況にあり、**施設の老朽化**も進んでいることから、ふなのえこども園とことうらこども園を統合し、新園舎を建設することを提案。

【第１回会議での主な意見】
・園児にとって安心安全な場所で保育されることが大前提であり、ふなのえこども園については、園舎の老朽化が著しく早急に建て替えが必要。
・園を統合する場合には、便利の良い場所に建設する必要がある。

（２）　子どもにとって望ましい保育環境の充実について

①新園舎の建設地について

公有地の状況を説明(赤碕勤労者体育館跡地・鳥取牧場北側)

【委員から出された主な意見(望ましい場所)】
・災害のリスクが無い安全な場所(赤碕勤体跡地は河川の増水等不安がある)
・通勤や送迎に便利な場所(主要幹線沿い、バス停等公共交通機関の近く)
・地域環境が保育の特色として活かせる場所(商店街や公共施設の近く、自然豊かな場所等)

②新園舎に求める機能・設備について

参考にやばせこども園の園舎の状況を説明

【委員から出された主な意見(求める機能・設備)】
・園舎・園庭・駐車場ともに広いスペースを確保
・施設の耐震強化や防犯設備の充実
・避難所としての機能が果たせる施設(バリアフリー化や大人も利用できる設備等の充実)
・子どもたちが自分で考え、創意工夫して遊べる環境構成
・こども園以外の機能も備えた、地域に開かれた多機能施設等

４　新園舎建設に向けて今後の対応

・委員からの意見を参考にし、建設地の選定等を行っていく。
・施設設計の際には、保護者をはじめ広く意見も聞き進める。
・建設地等が固まり次第、保護者に説明を行い、統合についても検討していく。

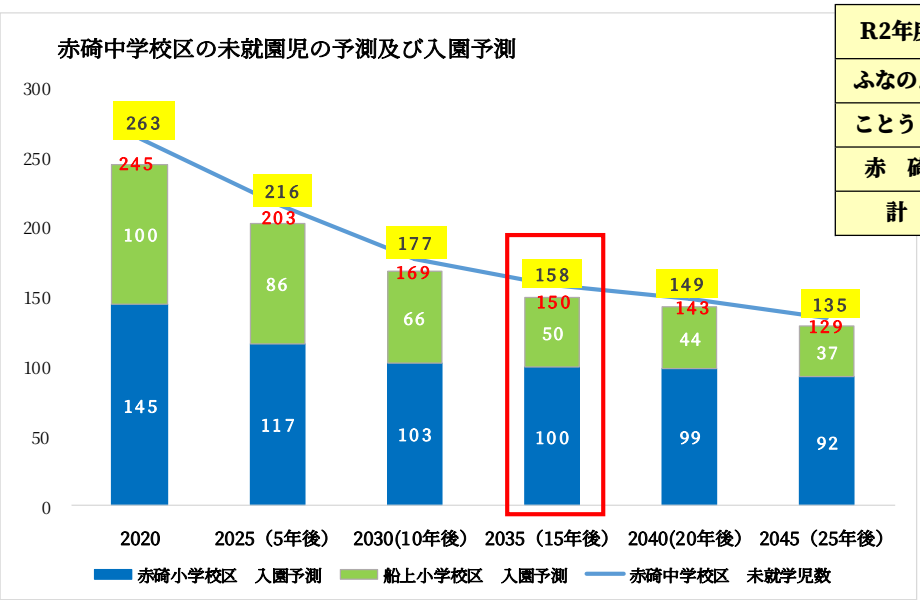
第2回　琴浦町立ふなのえこども園あり方検討会資料　　(R2.11.19)

1　第1回目の検討会について(まとめ)

(1)　第１回目協議内容

①　赤碕中学校区の各園の現状と課題、子どもの人数の推移について

○　人口推計によると、未就学時及び入園児数が今後大きく減少する見込みになっている。、15年後には未就学児の人数は現在より約4割減少し、入園児についても、船上小学校区は現在の半数に減少する予測である。



R2年度	定員	入園児（予定）
ふなのえ	90	87
ことうら	80	50
赤　碕	110	106
計	280	243

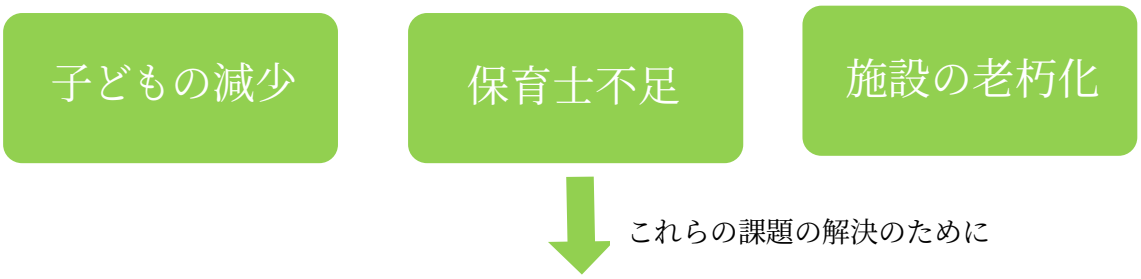
○　公立･私立とも保育士･保育教諭の確保が難しく、募集を行っても人が集まらない状況にある。

○　赤碕中学校区内3園とも園舎の老朽化が進んでおり、修繕等が増えている。

施設名	建築年	経過年数
ふなのえこども園	昭和５３年	４２年
ことうらこども園	平成３年	２９年
赤碕こども園	平成７年 平成１６年(乳児棟)	２５年 １６年

② 子どもにとって望ましい保育環境について

《 現在抱える課題 》



これらの課題の解決のために

子どもたちが安心･安全に過ごせる場所を確保するとともに、集団の中で様々な体験や、多くの友達と関わる機会を保障し、保育士等を確実に配置していくためには、ふなのえこども園とことうらこども園を統合し、2園の園児が入園できる新園舎を建設することが望ましいと考える。

(2) 委員からの主な意見

・ふなのえこども園については、園舎の老朽化が著しく早急に建て替えが必要。

・園を統合した場合、園が遠くなる保護者もあると思うので、便利の良い場所に建設する必要がある。

・園児にとって安心安全な場所で保育されることが大前提であり、どのような集団や環境の中で保育するのが良いのかを考えていく必要がある。

・園を統合した場合、地域とのつながりをどうしていくのかが課題。

・ 統合については、保護者や地域と十分に話し合い、説明を行うことが必要。

(3) 公立園における職員の配置について（第1回検討会補足説明）

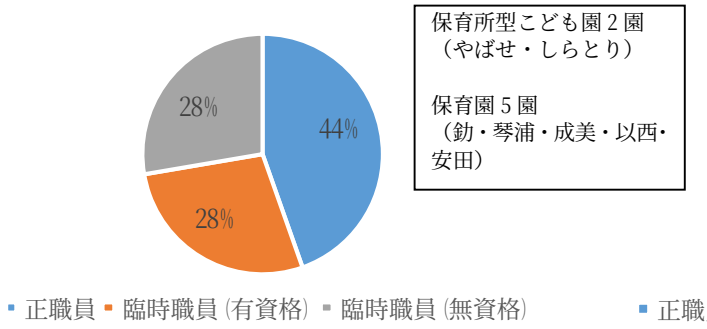
琴浦町では、国の配置基準に比べ手厚く保育士を配置している。

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
国基準	3：1	6：1		20：1	30：1	
町基準	3：1	4.5：1	6：1	15：1	30：1	

成美保育園･以西保育園･安田保育園の統合により園数は減となった。これに伴い職員体制について、保育士等の資格を有する職員の割合が高くなっており、保育体制の充実につながっている。

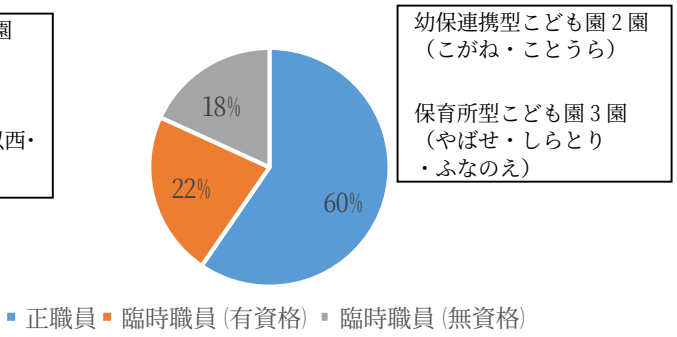
また、公立園全体の園児数については緩やかな減少となっているが、保育士のうち正規職員については、統合後も同程度の職員数を維持しており、割合も高くなっている。

H26保育士配置状況



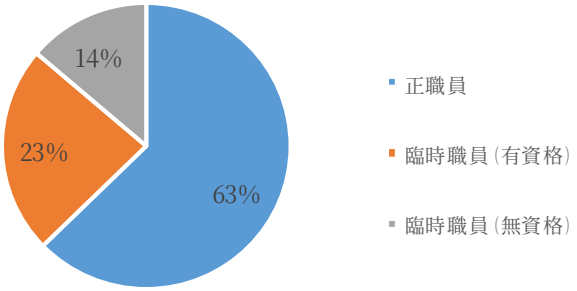
正職員	58人
臨時職員（有資格）	36人
臨時職員（無資格）	36人
合計	130人

R2保育士配置状況



正職員	59人
臨時職員（有資格）	22人
臨時職員（無資格）	18人
合計	99人

統合した場合の配置予想



幼保連携型こども園　4園

正職員	59人
臨時職員（有資格）	22人
臨時職員（無資格）	13人
合計	94人

※現在の職員数でふなのえこども園と、ことうらこども園を統合した場合。

2　子どもにとって望ましい保育環境の充実について

【検討事項】

- 新園舎の建設地について
- 新園舎の設備について

(1)　新園舎の建設地について

【参考】公有地の状況

①　船上小学校区周辺。町有地として赤碕勤労者体育センター跡地がある。
※急傾斜地や勝田川に近い。

②　鳥取牧場（国有地）。
※変形地だが町道沿いで広い面積が払下げ可能。

(2) 新園舎の機能･設備について

◎は必置のもの　面積についてはやばせこども園参考

室名等	部屋数等	面積（㎡）	1室/面積	県基準面積	県の基準
乳児室　◎ （調乳・沐浴設備有）	1	34.00	34.00	14.85	1.65㎡×園児数以上
ほふく室　◎	1	52.00	52.00	33.00	3.3㎡×園児数以上
保育室　◎	4	261.00	65.25	50.00	1.98㎡×園児数以上
遊戯室　◎	1	224.00	224.00	199.98	1.98㎡×満２歳以上の園児数以上
職員室　◎ （保健室と併用）	1	84.25			
調理室　◎	1	90.00			
トイレ　◎	5	77.71			
多目的室	1	20.25			
相談室	1	10.50			
図書コーナー	1	18.00			
園　庭　◎	1	3294.00		640.00	400㎡+80㎡（学級数-３）

やばせこども園（定員120人）
延床面積　1446.60㎡　12.6㎡/人
園庭面積　3.294㎡
敷地面積　7581.93㎡

しらとりこども園(定員140人)
延床面積　1726.97㎡　12.3㎡/人
園庭面積　3.135㎡
敷地面積　9763.13㎡